

日本医学会会長 門脇 孝先生侍史

2024 年 11 月 5 日

公益社団法人 日本産科婦人科学会

理事長 加藤 聖子

公的プラットフォーム設立準備委員会委員長 鈴木 清



日本産科婦人科学会の「重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）」に関する
審査に対する報告・承認、並びに課題の検討を継続的に行う
「運営委員会」の設置に関する要望

平素より弊会の運営に多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

さてこの度、貴会の「遺伝子・健康・社会」検討委員会内に、弊会の「重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）」に関する審査に対する報告・承認、並びに課題の検討を継続的に行う「運営委員会」の設置をご検討いただければ幸いに存じます。

弊会の重篤な遺伝性疾患を対象とした PGT-M に関する審査小委員会は、平成 10 年に発表後改定を繰り返し運用してまいりました「着床前診断に関する見解／細則」をもとに、当事者に寄り添いつつも厳格な検査の適応（重篤性の定義）を定めて、多くの審査を行ってまいりました。その間、急速な分子生物学的・遺伝学的手法の進歩があり、また社会情勢も変化してきたため、適応（重篤性の定義）とその判定のあり方並びに審査体制について議論し、新しい見解が令和 3 年度第 2 回臨時総会（2022 年 1 月 9 日）にて承認されました。現在は、20 年ぶりの改訂となった新しい見解の適応（重篤性の定義）に則って審査を継続しております。そして、先日（2024 年 8 月 28 日）に重篤な遺伝性疾患を対象とした PGT-M 審査に関する 2023 年 症例審査結果を公開したところでございます。

弊会は、1983 年に体外受精、胚移植に関する見解を示して以降 40 年余り、倫理的に注意すべき事項に関する見解等を遵守することを会員に求めてまいりました。弊会は、会員が臨床・研究活動を行うにあたり、見解を厳重するよう通達し、見解を遵守しない会員に対しては、速やかにかつ慎重に状況を調査し、その内容により定款に従って適切な対処を行うことといたしております。しかしながら、弊会の見解は生殖医療等を行う産婦人科の医師と一般社会の約束事であり、あくまでも弊会会員に対する自主規制であることから、会員以外の医師に対して規制することができず、公的な規制ではありません。さらなる急速な分子生物学的・遺伝学的手法の進歩と社会情勢の変化が進む現状、ノーマライゼーションとセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利：SRHR）、並びに自己決定権と生命尊重の原則が対峙する倫理的ジレンマ（プロ・チョイスとプロ・ライフ）を解決すべく、これら臨床倫理的課題を有する重篤な遺伝性疾患を対象とした PGT-M に関する審査を、一学会のプロフェッショナルオートノミーのみで進めて参る限界を感じている次第でございます。なお、「日本学術会議第二部着床前診断 特に PGT-M に関する検討分科会」の提言（2023 年 7 月）には、PGT-M を含む生殖医療と生命倫理の検討を所管する公の機関の設置が必要であり、「生まれてくる子どものための医療に関わる」生命倫理のあり方について審議・合意し、

規範化を行う形が望ましい、と記されました。

そこで、弊会の「重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）」に関する審査に対する報告・承認、並びに課題の検討を継続的に行う「運営委員会」を貴会に設置していただくべくご検討を賜れば幸甚に存じます。具体的には、NIPT（出生前遺伝学的検査）に対する運営組織のように、弊会の委員会組織体制の上部組織として日本医学会が公的プラットフォームの一部を担っていただくことを議論していただければ幸甚に存じます。本案件は、「学術、研究、医療を巡る情勢の変化に対応するため、基礎・社会・臨床に関わる諸問題に関し、必要に応じて検討組織を設け、社会に向けて日本医学会としての意見表明並びに提言を行う」との貴会の活動に資する事業になろうかと存じます。重ね重ね、弊会からの本要望をご検討いただければ幸いに存じます。

（参考資料）

公益社団法人 日本産科婦人科学会

重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）2023 年 症例審査結果の報告について

https://www.jsog.or.jp/news/pdf/PGT-M_2023shinsakekka.pdf

公益社団法人 日本産科婦人科学会

「PGT-Mに関する倫理審議会」最終報告、参考資料、ご意見

<https://www.jsog.or.jp/medical/795/>

公益社団法人 日本産科婦人科学会 旧優生保護法に関するアンケート調査の結果および日本産科婦人科学会からの宣言（福岡宣言）

https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20220807_shuuchi.pdf

公益社団法人 日本産科婦人科学会 生殖・周産期医療に係る生命倫理を考えるに際しての日本産科婦人科学会の基本姿勢

https://www.jsog.or.jp/activity/rinri/202203_rinri_kihon.pdf